

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

2027年 福岡教区創立 100周年 開幕記念ミサ ※ライブ配信有り
日時：7月14日（日）9時30分
場所：カテドラル大名町教会
司式：ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）
この日は各小教区でも開幕記念ミサが捧げられます

福岡教区主催 平和を祈る集い
8月12日（月・山の日振替休日）10時～16時
カテドラル大名町教会 ※4面参照

平成29年7月九州北部豪雨から7年 令和2年7月豪雨から4年
2017年7月、福岡県と大分県に、そして2020年7月、熊本県を中心に九州や中部地方などで発生した集中豪雨により、今なお、悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られている方のために祈りましょう。キリストがともにいてくださることを、私たちが証しできますように。

今年の7月14日（日）は、すべての小教区で教区創立100周年に向かう歩みを開始する意向でミサが捧げられます。皆さんが一つの場所に集まることはできませんが、心を合わせ、深い感謝を味わいながらともに歩み始めましょう。私自身もカテドラルでミサを捧げ、教会まで足を運べない兄弟姉妹のためにミサは動画配信されます。ミサの最後に、皆で「福岡教区創立100周年のための祈り」をともに唱えてください。これから、時々この祈りとともに



初夏の清々しい青空がひろがる5月25日（土）、「美野島」聖堂には入りきれないほど多くの人が駆けつけた。司牧センター」でセン

式典では、マルセル神父が挨拶で30年の道のりを紹介し、協力してくれた方々や、小さくされた人々、神様とともに歩めたことへの感謝を述べた。地域からは美野島公民館より館長を招待し、昔からの司牧センターとのかわりや思い出などが込められた祝辞を賜り、続いて美野島司牧センターで活動をしている「移住労働者と共に生きるネットワーク九州」「NPO法人福岡おにぎりの会」「N

マルセル神父は常に小さくされた人々と共に歩み続け、この美野島司牧センターは、そのマルセル神父の思いと聖霊の働きによって必要とされ30年もの間続いてきた。これからもこの神の働きが実現され、人々が集い、癒されるこの場所が守られるよう心から祈りたい。

「終末論的な生き方」でしょう。

感謝 情熱 希望
この3つの言葉は、2027年7月16日に福岡教区創立100周年を迎える私たちにとって、大きな方向性を示しています。この言葉は教皇フランシスコが、奉獻生活の年（2014年11月30日から2016年2月2日）「主の奉獻」の日までに、奉獻生活に呼ばれている人々に送られた手紙の中で、その1年間を有意義に過ごすために勧められた姿勢です。

福岡教区創立100周年を迎えるにあたり、今まで歩んできた道を振り返って感謝しましょう。また、福音に触れるときに伝わってくる情熱に促されて信仰生活を深め、教区や小教区の活動に積極的に取り組みましょう。それによって、希望を持って将来に向かって行くことができますと確信しています。感謝・情熱・希望は私たちの歩みを導く光です。この3つの言葉を心に刻み、教区創立100周年に向かつて歩み始めましょう。

互いに支え合う交わりの教会となる」を取り上げ、宣教師牧方針の中で勧められているヒントを参考に、各小教区や地区で話し合い、具体的な動きを決めてください。その柱をよりよく理解するために、各地区で研修会を開くようにお願いします。教区の宣教師養成委員会はそのための協力をすることができま

1990年以降、国策によりカトリック信徒が多いブラジルやペルーから多くの日系人の移住が始まったが、教会に来る彼らが言葉だけでなく、文化の違いに困惑し、日常生活も困窮していることを知った当時の教区長・故松永久次郎司教は、1994年4月、開園していた美野島カトリック幼稚園園舎、美野島教会聖堂と司祭館を、外国人移住労働者の司牧を行うことを目的に活用することを決め「美野島司牧センター」を開設。コース・マルセル神父（パリ外国宣教会）にその司牧を依頼した。

以来30年、外国人移住労働者の支援はもとより、薬物依存症者の回復支援や野宿者への炊き出し・生活支援など、宗教を超えて小さくされた人々の拠り所となっている。

アベイヤ司教は説教で、フランシスコ教皇が言われる「感謝をもって振り返る」「情熱をかけて生きる」「未来に目を向け希望を持つ」の3つのことを大事にするよう語った。当日は、カトリック信徒にとどまらず、30年の長きにわたり関わりのあった方々や、教会関係者、ボランティアの方々など250人以上の参加があり、聖堂には入りきれず、外にいる方にも聞こえるようにドアを開放して共に祈りを捧げた。また、30周年を記念して鐘塔を建て、昔の美野島教会にあった鐘を設置して祝別を行った。

式典では、マルセル神父が挨拶で30年の道のりを紹介し、協力してくれた方々や、小さくされた人々、神様とともに歩めたことへの感謝を述べた。地域からは美野島公民館より館長を招待し、昔からの司牧センターとのかわりや思い出などが込められた祝辞を賜り、続いて美野島司牧センターで活動をしている「移住労働者と共に生きるネットワーク九州」「NPO法人福岡おにぎりの会」「N

マルセル神父は常に小さくされた人々と共に歩み続け、この美野島司牧センターは、そのマルセル神父の思いと聖霊の働きによって必要とされ30年もの間続いてきた。これからもこの神の働きが実現され、人々が集い、癒されるこの場所が守られるよう心から祈りたい。



教区 100 周年ロゴマーク

Diocese of Fukuoka (福岡教区) 100th (100周年) 1927年～2027年
100という数字をデザイン。「1」が十字架なのは、キリストに倣い従ってきた100年、そしてこれからも変わらないという意味が込められている。「0」が正円なのは、何も欠けることのない状態（シャローム）を表し、その円が重なり合いながら歴史が紡がれていくイメージである。
緑はキリスト教美術において、希望・復活の色であるとされている。

2027年7月16日までの準備の3年間の間、毎年宣教師司牧方針の3つの柱に対する理解と、それに伴う活動を深めていきたいと思います。今年、第2の柱である「お

小さくされた人々と共に 美野島司牧センター30周年 感謝ミサと祝賀会

アベイヤ司教は説教で、フランシスコ教皇が言われる「感謝をもって振り返る」「情熱をかけて生きる」「未来に目を向け希望を持つ」の3つのことを大事にするよう語った。当日は、カトリック信徒にとどまらず、30年の長きにわたり関わりのあった方々や、教会関係者、ボランティアの方々など250人以上の参加があり、聖堂には入りきれず、外にいる方にも聞こえるようにドアを開放して共に祈りを捧げた。また、30周年を記念して鐘塔を建て、昔の美野島教会にあった鐘を設置して祝別を行った。

マルセル神父は常に小さくされた人々と共に歩み続け、この美野島司牧センターは、そのマルセル神父の思いと聖霊の働きによって必要とされ30年もの間続いてきた。これからもこの神の働きが実現され、人々が集い、癒されるこの場所が守られるよう心から祈りたい。

福岡教区創立100周年に向かつて 感謝、情熱、希望
福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 山元 真
カトリック福岡司教区
編集人 山元 真
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

7月の意向
【教皇の意向】 病者への司牧的ケア
【日本の教会】 難民
教皇の意向のために祈りましょう

時の話題

英語が話せなくても

2019年6月に、大村入国管理センターで長期収容に対する抗議のハンガーストライキによって、ひとりのナイジェリア人が死亡するといふ事件がありました。その時、毎月管理センターに面会に行かれていた司祭と話す機会があり、私は英語も話せないのに、面会に行ってもだめで

すね」と言う「外国人でも日本で働いていた人たちが、日本語で大丈夫」と言われ、面会活動に参加することになりました。最初は「こんにちは」と挨拶することしかできませんでしたが、確かに片言でも日本語で少しずつ話ができるようになってきました。収容に至った様々な背景や家族のこと、祖国の状況、そして、それまで言葉でしか知らなかった「カースト」（インドの身分制度）に関わる複雑な問題や、宗教による食生活の違いなど、時には楽しかった思い出話や、笑い話もありました。

面会を始めて5年になりますが、ずっと日本語でいろいろな話をしてきました。私も含め日本人は外国人を見かけると、そっと避けることが多いように感じます。それは差別などではなく、自身の英語力に対する劣等感であることが多いようです。でも、英語が話せなくても大丈夫でした。

このような極限の状態にある方々に限らず、すべての外国籍の方に笑顔で「こんにちは」と挨拶すること、それは小さな「平和」の始まりではないでしょうか。大名町教会 前田 由樹



アシジの聖フランシスコは死について次のように述べています。「私の姉妹である死よ、ようこそ」（アシジの聖フランシスコの第二伝記217）。彼は超然と、死を兄弟姉妹のように自然に受け入れました。このように、生と死は生命の自然な過程です。しかし、いつの間にか医療の発達により、私たちはこの自然な流れに逆らっているように感じます。人々は死を恐れています。それが何なのか分からなからず、誰にも死は訪れますが、それを経験した人はいません。そのため、死の後は誰も知ることができません。イエス様以外はですね！現代科学では、死はそれ自体が虚無、無意味さを意味します。しかし、イエス様は死の後に何があるかを教えてくれます。ご自身が直接死と復活を経験して私たちに知らせてくださったので、す。そのため、私たちが信じるキリストの福音は自然に希望へと繋がります。死を復活への門、すなわち希望として受け入れる人にとって、死は聖フランシスコの表現のように「兄弟であり、姉妹」なのです！私たちは今日を生きている人ですが、同時に死に向かつて進む人でもあります。神様がくださったこの「神様の息」を、神様がいつ召されるかは誰にもわかりません。そのため、私たちは今日も一日、息をすることができるようにしてくださった神様に感謝し、同時に自分自身の死についても考えてみる必要があります。それがキリスト者が生きている「終末論的な生き方」でしょう。



◆ 福岡教区宣教司牧方針を受けて ◆



2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。

「宣教司牧方針」は上記QRコードからご覧になれます。

佐賀地区・多久教会
「交わりの教会」の実践

主の平和に満ちた皆さんの笑顔



1962年に小教区が創立され、今年で62年になります。それでも他の教会に比べると、まだまだ若い方でしょいか。炭鉱で栄えた多久市の人口は、最盛期45,627人でしたが、炭鉱の閉山で現在は17,773人と61%減となりました。それに伴い、信徒数も当時の約1/3程にまで減少しました。

多久教会は、「小さい共同体でもできる事」をモットーに、出会いとおもてなしを心がけています。ミサ後、用事で帰る人以外は信徒会館に寄り道して、お茶やコーヒーをいただいで帰ります。そこで、日常の悩み、雑談、ミサ中の説教の感想などの意見交換を行っています。突然信徒数が増えることはありませんが、大幅に減ることもありません。毎週のちょっとした触れ合いが、細く長く続ける秘訣ではないでしょうか。

小さな共同体だからこそ、コツコツとできる事を実践しています。稀に、ベトナムやフィリピンの方が仕事でいらっしやいます。半年か1年かすると突然来なくなります。またいつか会うかもしれないからと、つながりを大事にして、率先してこちらから話しかけるようにしています。

多久教会にお越しの際はぜひ信徒会館にもお寄りください。多久教会に来られた人を、温かく迎え入れる準備はいつでもできています。

信徒会長 中村 信敏

来福した司教と司祭団は午後2時半にカテドラルに集合し、福岡教区長と、おもに青年司牧を担当している司祭、



福岡教区でも記念の集合写真が撮影された

司教は、当日の福音（マタイ5章の山上の説教）を分かち合った。「よく知られている

韓国からの協力司祭との会合が持たれた。仁川教区（信者53万人・司祭353人）、福岡教区の青年司牧の現状が報告され、2027年に韓国で開催されるWYD（ワールド・ユース・デー）世界青年大会を念頭に、おもに青年司牧の将来について分かち合われた。今後、両教区の青年たちの交流が互いのホームステイなどを通して実現することが望まれる。

感謝の言葉を述べ、仁川教区からアベイヤ司教に大口ウソクと、昨年訪問した時の記念写真が贈られた。夜には両教

このイエスの言葉は弟子たちの心に深く刻まれ、それが初代教会でも受け継がれ、共同体の中で物的、精神的に分かち合われていた。迫害の中にあってもこの信仰に支えられていた。韓国と日本の教会の共通点は殉教者。殉教者の証の上に教会が立っている。この大きな宝物を基に私たちの関係も深まっていく。互いの教会のために祈りましょう。拝領祈願に続いて両司教が



司教（左）から、自身の紋章にある「キリストの愛に駆り立てられて」が刻まれたロウソクを受けるアベイヤ司教（右）

第1回 司祭集会

障がいを持つみなさんとともに

5月21日（火）大名町教会で今年度第1回教区内全司祭集会が開かれた。教会は今、シノドスを通して「ともに歩む教会」を目指している。教区創立100周年へ向けて、2024年は宣教司牧方針第2の柱「互いに支え合う『交わりの教会』となる」を目標として歩む。そこで、今回は障がい者の方や共に歩む方の声を聞き、今、教会や司祭に求められていることを探った。分かち合いの要旨を発表者の皆さんの了解を得て紹介する。



登壇者の皆さまとシルバノ神父（右）

ミサには両神父が兼任する。帯山教会の信者も参加して30人以上が与り、ミサ後天草、島原を経て長崎巡礼に向かう一行を見送った。

6月13日（木）、一行は仁川教区から派遣されている徐仁徳神父が司牧する若松教会を訪問。若松天使園の園児、保護者も信者と共にミサに参加。韓国語でさげられたミサの後にプレゼント交換。園児たちから折り紙と歌が、司祭団からは歌がプレゼントされた。昼食会ではおにぎりや味噌汁が供され、ジョン司教の叙階14年も祝われた。

14日（金）は戸畑教会（徐神父兼任）を訪問し、戸畑天使園の園児たちがレイ（首にかける花飾り）で出迎えた。共同司式でアベイヤ司教も加わったミサには信者30人程が参加。ミサ後、皆で帰路に着く司祭団を見送った。今後の両教区の具体的な交流が期待される。

春木雄一朗さんは4年前に突然全盲になった。山鹿教会に導かれ、そこで人々を通してキリストに出会い、今年の復活祭に入信の秘跡を受けた。病を通して救いの福音に出会ったことで、障がいを持つ自分を示すことが使命と考える。春木さんのインタビュー記事が教区ホームページの「ものがたり」に収録されている。佐田ひとみさんは25年程前に大名町教会の受付をしていた頃、病んだ方や苦難にある方と関わった。また、難病の父親の看病をし、自身も足の障がいと付き合っているが、自分の使命を見出し、障がい者、病者との関わりがキリストに触れることだと気づく。終わりに「イエス様の愛の教会です。神父様方のお力で、弱い立場の人々を受け入れて頂きたいと思います」と結んだ。

貴重な体験を聞いた司祭たちは、発表者一人ひとりの人生を聖霊が包んでいることに改めて気づかされ、心からの拍手を送った。

教区創立100周年
取り組み決まる

今年2月に福岡教区創立100周年委員会が発足。6月の第3回委員会において様々な提案が具体化した。記念行事の取り組み期間を2024年7月16日から2027年7月16日までの3年間とする。これからの3年間で取り組むテーマは福岡教区宣教司牧方針に沿って行われる。2024年の7月14日には、100周年記念事業開幕の記念ミサがカテドラル大名町教会で捧げられ、動画配信も行われる。またこの日には、全教区民に宛てたアベイヤ司教の創立100周年に向けたメッセージが、各小教区のミサにて読まれる。福岡教区100周年のための祈りが作られ、100周年ロゴマークも提案され、作成された。そして典礼（記念ミサ）・記念誌作成・行事・広報・宣教養成の専門委員会が立ち上がり、各委員長、委員が紹介された。それぞれの活動が期待される。

新型コロナウイルスによる疲弊、苦しみ、分断された3年間であったが、これからの3年間は、次なる150周年へ向けて、希望と活力に満ちた共同体となるよう「福岡教区創立100周年のための祈り」を共に捧げたい。

開幕1年目、2024年の目標は「たがいに支え合う『交わりの教会』となる」。私たちはイエスを中心に御父とつながる縦軸、人とつながる横軸の十字架に生かされる共同体である。心に残る名曲、中島みゆきの「糸」の歌詞「なぜめぐり合うのかを…、いつめぐり合うのかを私たちは何も知らない。…縦の糸はあなた、横の糸は私、織りなす布はいつか誰かを温めるかもしれない」。イエスとのめぐり合い、多くの人とのめぐり合いは、縦糸と横糸の交わりが織りなす布。多国籍、多言語、多様性、多くの違いを超えて、私たちは神の民、兄弟姉妹である。聖霊の導きに従い、祈りと多くの集いに積極的に関わり、始まりの1年を高らかに歌いたい。「わがこころ、喜びにみちあふれ主をまちのぞむ」（典礼聖歌167番）と。

福岡教区創立100周年委員会・委員 濱崎公夫（大名町教会）

総合建築業

- ・一般住宅（新築・改築工事）
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社

森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5



サンパウロ
福岡宣教センター



営業時間：
10:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

アポストローラム

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください



(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリヤ 吉田由利子

〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号

TEL 092-761-8800

http://www.iruka-japan.com/

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会②④

福岡教区には現在 30 の修道会・宣教会・在俗会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。
一昨年春より紹介している、その修道会や宣教会・在俗会。第 24 回は、カトリック愛苦会です。

カトリック愛苦会

初めまして。“今村のシスター”と呼ばれることが多い私たちですが、今村での活動百有余年という事実を前に、腑に落ちる表現だと思います。当会は創立が 1884 年 3 月 17 日、創立者はソーレ神父（パリミッション会）。目的はキリストの福音的勧告に従い、人々の救済の為に愛の奉仕を通して、神の栄光のために働くこと。主な活動はカテキスタ、サクrista（香部屋係）、オルガニスト、典礼奉仕、社会福祉事業（乳幼児、高齢者）です。

1886 年、長崎の信徒による「今村信徒発見」から繋がる長崎との縁で、浦上十字会（現お告げのマリア修道会）から岩永キクが派遣され、今村出身の会員 5 人と共同生活をしました。当初より「おんな部屋」「オセ方（教え方：要理教育や洗礼の準備等の役目をする人）」との呼び名で親しまれ、私服のまま地域の中で教会とともに歩んで参りました。戦時中には宗教団体に対する国の施策の影響で自然消滅の危機もありましたが、1940 年、今村に着任の糸永一神父様のご尽力により 3 人の入会者を迎え再出発しました。糸永神父様の福岡小神学校へ転任の後、後任の主任司祭とともに、教会の奉仕活動、公教要理の指導、病床にある者の見舞い、農耕作業に従事しました。1947 年、再度糸永神父様が着任し事業に着手しました。清心保育園（現海の星保育園）、清心乳児園、清心慈愛園、カトリック診療所、養護老人ホーム聖母園。運営を終えた事業などありますが、関わる人々に寄り添い、希望と力が与えられるよう、聖コルベ神父の取り次ぎを祈りながら神のみ手に委ねています。

愛苦会の修道院



今村教会内での典礼奉仕は、当初からの愛苦会の尊い愛の業として今も継続し、ミサ典礼に関わることはもとより、侍者の育成、子どもの典礼奉仕など。小学校中学年の男子には侍者コース、女子には朗読または聖歌、祈りの先唱などを勧めています。やや厳しめのシスターかもしれませんが（笑）。オルガニストを通じて関わる聖歌隊活動は、コロナ禍以降休止状態なのが悔やまれますが、糸永神父様時代から受け継ぐラテン語聖歌は世代を超えて親しまれ、今村の心ともいえる存在です。

歴代の主任司祭に仕えご指導を仰ぎ、最も小さい人々に福音を告げ知らせる最も小さい群れは、この地において「神のはからいは限りなく、生涯私はその中に生きる（典礼聖歌 52 番）」と讃えます。 会長 平田鈴子

6 月 5 日（水）から 7 日（金）まで、石川県能登の被災地視察とボランティア活動のため、教区災害被災者支援室・青木悟神父、事務局長・十時伸治神父、青年部門担当・谷口尚志神父とともに訪問した。まず金沢教会内に設置された「カリタス」とサポーターセンター（以下「のとせん」）にて、センター長片岡義博神父（金沢教会主任）、ERST（緊急支援対応チーム）スタッフ、センタースタッフの方々と現状の報告を受けた。

翌 6 日は、七尾市の社会福



地震で手を失ったマリア像
折り見つめる先はいつたい

令和 6 年能登半島地震 被災地の現状
「ボランティアを送ってください」

祉協議会のボランティア活動に参加した。作業は被災した家屋の瓦礫の撤去処分が主だった。6 ヶ月を経てようやく少し家が片づき始めたようだが、人手はまだ必要で、のとせんもボランティアを募集しているが、希望者全てを受け入れることが難しい状態とのことであった。

夕方、ボランティア活動終了後、「輪島を見てください」との勧めで、前日同様、センターが視察に連れて行ってくださった。七尾から車で 2 時間の道のりは、昨日視察した道の状態よりはるかに酷く、あちこちに亀裂や段差ができて、何とか走れる程度に緊急処置されていた。輪島に近づくにつれ、倒壊した家屋が増えていき、その殆どが手付かずの状態である。崖がずれ、斜面の崩落は当たり前。輪島の町は倒壊した建物が多く、有名な朝市も、火災で焼け跡のまま。訪れた輪島教会の聖堂は危険建物として現在も使用できない状態である。

床に落ちたままの真つ二つに割れた大理石の祭壇、手がないマリア様（冒頭の写真）……。現地の方々だけでは何もできないはずだ。隣の子どもの園の先生に話しを伺った。建物は耐震建設であったため、1 月には子どもたちの受け入れを再開できたが、震災後、登園する子どもたちは半減したとのこと。先生方も自宅は被災され、全壊と診断されていることに衝撃を受けた。現在、その自宅の 2 階にそのまま住み、登園されていた。私たちが訪れた 3 日前の朝にも、震度 5 の余震が起きた。先生方は互いの安否を確認しながら出勤したそうである。仮設住宅への入居はまだ時間を要するが、全壊と診断された家でも、そこを出てこの地を離れると子どもたちの保育ができなくなるため、先生方は命がけで奉仕されていた。私たちがまったく知らない



のとせんで説明を受ける神父たち
（左手前から片岡神父）青木悟神父・（ERST スタッフ）寺浜神父・十時神父・谷口神父

5 月 14 日（火）、コロナ禍で途絶えていた西日本地区司祭団によるソフトボール交流会が 5 年ぶりに大阪市内で行われた。当日は雲一つない晴天で、絶好の交流会日和に集結したのは長崎、福岡、大分、広島、大阪・高松教区から集まった約 45 人の司教、司祭や



大会での勝利を胸に！開会式にのぞむ参加司祭たち

西日本司祭ソフトボール大会
来年は福岡でリベンジ！

午前中から淀川の河川敷にある 2 力所の球技場で熱戦が繰り広げられた。はじめに大阪・高松大司教区の福田万葉枢機卿より言葉をいただき、初めの祈りに続き、組み合わせ抽選が行われた。抽選の結果、1 試合目を通過したチームとは強豪の長崎教区。胸を借りるつもりでいざ試合へ。しかし、長崎教区の打線は留まることを知らず、20 対 1 で 5 回コールド負けとなる前代未聞の結果に……。続く、最下位となることだけは避けるべく臨んだ広島教区との試合でも、8 対 5 で惜敗……。結局、5 チーム中、最下位となってしまう。交流会の最後は大阪・高松大司教区の酒井俊弘補佐司教より振り返り



来年の福岡大会での雪辱を誓う、福岡教区の司祭たち

『ラウダート・シー』ともに暮らし家を大切に」に学び、神、他者、自然、そして自分自身との、調和ある関係を求めつつ生きていくよう呼びかけるとともに、「観る」「識別する」「行動する」という三段階を通じて、エコロジーについての理解を促し、実践へと招く。カトリック中央協議会発行 税込価格 880 円



☆見よ、それはきわめてよかつた
日本カトリック司教団（著）



広告掲載をご希望の方は
下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話：092-522-4059
メール：cdf-kouhou@nifty.com

※この枠で 1 回（ひと月）5,000 円の献金（目安）をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3136
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

年間目標

互いに支え合う
交わりの教会となる日本カトリック平和旬間賛同企画
福岡教区主催 2024 平和を祈る集い

開催日：8月12日（月・山の日振替休日）

場 所：カテドラル大名町教会

＜内容＞

午前：第1部 4つの分科会

午後：第2部 「平和に対する主張」発表会

第3部 インターナショナルミサ（ライブ配信）

主司式 ヨゼフ・アベイヤ司教

※詳細は教区 HP または上記 QR コードからご覧ください。



絵・俳句・川柳・短歌の募集 ご案内

「平和」をテーマに上記を募集し、作品は当日、会場に掲示します。（締め切り 2024年 7月31日）

【応募先】

①郵送 〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28

教区本部事務局「平和を祈る集い 作品受付窓口」

②Eメール cdf-kouhou@nifty.com

送信時の件名「平和を祈る集い 作品応募」

北九州地区宣教司牧評議会主催

第3回聖書講座と同時並行開催

「平和！子どもメッセージ Let's Go 発進！」

【日 時】 2024年8月12日（月・山の日振替休日）

【場 所】 カトリック小倉教会

【対 象】 子どものみなさん（幼児～中学生）

【内 容】 みんなで平和について考え、主張したメッセージの作成（軽食有り）

【問合せ】 谷口尚志神父

（水巻・直方教会主任）

☎0949・24・9905 水巻教会

※保護者の方々は聖書講座にも、自由に参加できます。



福岡教区和田墓地委員会より

和田墓地の一般清掃を以下の通り行います。年々参加者が少なくなっております。皆さまのご協力のほどよろしくお願いいたします。

【日 時】 7月28日（日）9時～

【ミ サ】（※清掃後）11時30分～

【場 所】 福岡教区和田墓地（福岡市南区和田4-15）

【問合せ先】 ☎080・2771・6544 豊嶋

聖母の両親 聖ヨアキムと聖アンナ記念日のミサ

【日 時】 7月26日（金）14時～

【場 所】 旧福岡カトリック神学院・聖堂

【問合せ先】 ☎090-9568-0076 野川

いつくしみ深い御父を讃える集い

【日 時】 8月7日（水）15時～17時

【場 所】 カトリック笹丘教会

【ミ サ】 司式：遠山満神父（聖アウグスチノ会）

【問合せ先】 ☎092-211-2521 平和の元后聖マリアの集い ※ロザリオをご持参ください。

— 召命を共に祈る会 —

福岡地区 7月16日（火）13時30分～大名町教会
会 ロザリオと分かち合い ※8月は休会です。

【問合せ先】 ☎092・921・4532 山口

北九州地区 7月13日（土）14時～小倉教会

ミサ 谷口尚志神父（水巻・直方教会主任）

徐 仁徳神父（若松・戸畑教会主任）

【問合せ先】 ☎0949・24・9905 藤井

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報7月号」、または
右記 QR コードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス

https://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

7月のこよみ

カトリック福岡地区青年会主催：FYCC18

《パン》

FYCC (Fukuoka Youth Catholic Camp) が開催されます

【日 時】 2024年8月10日（土）～8月12日（月・振休）

【場 所】 旧福岡カトリック神学院
（福岡市城南区松山1-1-1）

【対 象】 福岡教区の中高校生

【参加費】 3,000円

（兄弟姉妹割 2人目から1,000円）

【申し込み】 右記 QR コードからお申し込みください。

【申し込み締め切り】 7月15日（月・祝日）

【問合せ】 catholic_fukuoka_chuukousei@yahoo.co.jp

※詳細は教区報ホームページよりお確かめください。



真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：真の幸せへの道

日 時：7月11日（木）10時～15時

内 容：「隣れみ深い人々は、幸いである」

指 導 者：C.クラウドディオ神父（聖ザベリオ宣教会）

次 回：※8月はお休みです

問 合 せ 先：真命山諸宗教対話センター

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町崎浦1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします（要予約）

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記
QRコード、または教区ホームページのカ
レンダーでご確認ください。

【7月】

1日（月） 福者ベトロ岐部司祭と187殉教者
3日（水） 聖トマ使徒 エキュメニズム委員会（東京）
4日（木） 常任司教委員会（東京）
6日（土） 健軍・高遊原教会司牧訪問（～7日）
7日（日） 年間第14主日 健軍教会司牧訪問 恵楓園でミサ
8日（月） 修女連養成担当者研修会（軽井沢）（～12日）
14日（日） 年間第15主日
教区創立100周年開幕ミサ（カテドラル大名町教会）
16日（火） 福岡教区創立記念日（1927年）
司教総会（～19日 東京）
21日（日） 年間第16主日 西新教会堅信式
聖体授与の臨時の奉仕者任命式（大名町教会）
23日（火） 第2回 司祭評議会
25日（木） クラレチアン会創立175周年（～31日 マカオ・台湾）
聖ヤコブ使徒
26日（金） 聖マリアの両親 聖ヨアキムと聖アンナ
28日（日） 年間第17主日
29日（月） 聖マルタ、聖マリア、聖ラザロ
30日（火） 聖イグナチオ（ロヨラ）司祭

【8月】

2日（金） 福岡学校連盟研修会
3日（土） 真命山訪問
4日（日） 年間第18主日 玉名教会司牧訪問

■ゴシックは司教日程

福岡教区創立100周年 開幕記念ミサ・ライブ配信

日時：7月14日（日）9時30分

場所：カテドラル大名町教会

司式：ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）

※教区ホームページから、もしくは右記
QRコードからご視聴ください。MABUHAI JAPAN
MY LIFE AS AN OFW FILIPINO IN JAPAN
フィリピン海外労働者として日本で働く日々
Ana Loraine Miralles

My name is Ana Loraine Miralles, an OFW living in Japan. I started in 2019 and was employed in a big tomato farm where I was able to finish my 3 year contract. I found working in my first company difficult. During those days I struggled with my workload since I was the only trainee on the farm. As a first time OFW I had a hard time adjusting to a new environment. At that moment I knew I needed God. I asked my employer where the nearest Catholic Church was. I will never forget the first mass I attended. Regardless of the language I still felt the presence of God. I talked to Him and asked Him for strength and to enlighten my mind since I had no one else to depend on. After the mass I felt reassured after surrendering everything to Him. Greatfully I finished my 3 year contract.

In 2022 I moved to a new company (Masayuki Shiraishi) which is a cherry tomato farm. There was some little adjustment required because it was a new company, a new employer, new co-workers and a new environment. But the moment I arrived I knew I would settle well until my very last working year in Japan. I am so blessed to have an employer who treats us as a family so that now I am so happy and contented.

The Church supports me by strengthening my spiritual beliefs. The moment I enter the church it always makes me feel at home. It helps me get through my everyday life while living in a different country. I find it difficult living away from my family with a different language and culture. It is a big challenge for me as a foreigner. I need to make a lot of adjustments to get along with Japanese society until the end of my stay in Japan. I intend to go on attending Sunday mass. That is not so easy because we do not get many rest days but every chance I get I'll make sure to spend time with Him at mass together with my co-workers.

Thank you Father for being an instrument for all the Filipino co-workrers here in Yatsushiro, Kumamoto and all the staff of the Church who are all approachable and kind. Just continue the good work you are especially those in need.



八代教会 英語ミサの皆さんとオカロール神父（左）

日本語訳は右記
QRコードからご
覧いただけます。

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

■美野島司牧センター
ホームレスの方へ温かい食
事と衣類 毎週火曜日10時
ホームレス支援炊き出し
第1・第3金曜日
調理 14時 夜回り 20時
路上からアパートに入居し
た方を訪問 第3土曜日14時

（問合せ先）☎092・431・
1419 コース・マルセル神父
■大濠カトリック会館・宣
教養成センター
○ミニアサロン大濠
第1・第3水曜日10時
（問合せ先）☎092・753・
6765 角田
○みことばのお弁当
第4木曜日10時
（問合せ先）☎092・753・
6765 大濠カトリック会館

教区報8月号の発行日
について
教区報8月号は7月31
日に発送予定です。お届
けが通常より遅れますが、
ご了承ください。なお、
9月号は休刊となります
ので、8・9月の集いの掲
載申込は7月15日までに
広報室にご連絡ください。

トには、広報委員が輪番で担
当している「みちくさ」や、「編
集後記」が楽しみという声を
いただきました。素直に（実
は飛び上がるほど！）嬉しく
疲れも吹き飛びます。
集計結果は8月号でお知ら
せする予定です。（W）

業務お休みのお知らせ
教区本部事務局
8月13日（火）～18日（日）

編集後記

先日の教区報読者アンケート

2024年 第1回 ポスコキャンプ in 野尻湖

対 象：カトリック信者ならびにキリスト教に関心のある中高生男子

期 間：2024年8月11日（日）～8月14日（水）

場 所：〒389-1312 長野県上水内郡信濃町大字富濃字宮沢3940

サレジオ学院野尻湖山荘 TEL026-258-2712

主な内容：自然の中で祈りの体験、若者と共に捧げるミサ、ロザリオ、よくわかる 聖書学習、
みんなの疑問に答えるQ&A、水泳、ポート、演芸大会他

問合せ先：調布サレジオ神学院 武井 アントニオ 神父

〒182-0033 東京都調布市富士見町3-21-12

TEL：042-482-3117 FAX：042-489-7645 e-mail：dbjpyouth@gmail.com

詳細は上記QRコード
からご覧ください私たちと一緒に
おはなしましょうか？

精神的な不安 身体的な不安 精神的な不安 心の痛み
不安な気持ち、不安な気持ち、不安な気持ち、不安な気持ち
不安な気持ち、不安な気持ち、不安な気持ち、不安な気持ち

10代～40代のみなさま

こんな悩みをお持ちでいませんか？

相談は無料です。

必要に応じて専門機関の情報提供もい
たします。ひとりで悩まずに、お気軽に
ご相談ください。秘密は厳守します。安心してお話が出来る人
をお探しの方へ。メール：hanahanahimawari2020@
gmail.com☎：080-4735-6971（9:00～21:00）
※対応できないとき
もあります。

※原則1回30分です。

LINE 右記

QRコード

—ぶろじゅくとHana—

ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・
看護師・シスターなどが在籍して
いる、礼拝会を中心としたグル
ープです。

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談
ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金（祝日を除く）

10:00～12:00 13:00～16:00